

JCCLS MacRM
多項目実用参照物質
Multianalyte Conventional Reference Material
取扱説明書
JCCLS MacRM-002

日本臨床化学会 (JSCC) によるヒト血清中酵素活性測定 の 勧告法、その他の物質の基準測定法の提示や日常検査法に伝達するための認証標準物質の設定により、臨床検査室が測定する主要な検査項目の測定値の標準化は進展した。本品は臨床検査室の測定値の真度 (正確さ) を確認するための物質であり、日本赤十字社から分与された検査残余血清を主原料として作製した。保存剤や安定化剤を含まない凍結保存品である。使用に際しては必ずこの取扱説明書の記載に従うこと。

【使用方法】

1. 15~25℃の水道水 500 mL 程度を準備する。
2. バイアルを-70℃以下の冷凍庫から取り出し、1. に 10 分間浸漬し解凍する。
3. バイアルを水浴から上げ、周りの水を拭きとる。
4. 10~20 回、静かに転倒混和する。
5. 栓を開け、清潔なピペットを使いサンプルカップに分注する。直接分析装置に設置しても良い。
6. 解凍後は栓をして冷蔵 (2~6℃) 保存し、24 時間以内に使用すること。

【使用上の注意】

1. 本品は解凍後、再凍結して使用しないこと。
2. 本品は、HBs 抗原、HIV 抗体、HTLV-1 抗体および HCV 抗体の陰性が確認されている。他の感染ウイルス等については感染性がないことを保証する試験方法が確立されていないため、一般的注意事項として感染の危険性があることを前提とし日常の分析試料と同様に慎重に取り扱うこと。
3. 本品が目や口に入った場合には、水で十分に洗い流し、医師等に相談し指示を受けること。
4. 使用後の容器は、廃棄物に関する規定に従って医療廃棄物または産業廃棄物に区別して処理すること。

【形状と包装単位】

2mL×3 バイアル (凍結品)

【保存方法】

凍結保存 (-70℃以下)

【有効期限】

2022年8月 (実証データにより延長される場合がある)

【参考文献】

- 1) 平成 25 年度多項目実用参照物質委員会報告：日本臨床検査標準協議会会誌 2014；29：9-11
- 2) 平成 26 年度多項目実用参照物質委員会報告：日本臨床検査標準協議会会誌 2015；30：10-12
- 3) 平成 26 年度認証委員会・認証評価委員会報告：日本臨床検査標準協議会会誌 2015；30：13-19
- 4) Multianalyte Conventional Reference Material (MacRM) : A Useful Tool for Nationwide Standardization of Laboratory Measurements for Medical Care - A Model Study in Japan. Clin. Chem. 2016；62 392-406

【頒布・問い合わせ先】

JCCLS 公益社団法人 日本臨床検査標準協議会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-7-13 山手ビル 3 号館 6 階

TEL：03-6206-9746、FAX：03-6206-9747